

◆ 2022 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：彩の国環境大学修了生の会

25A-03

代表者：代表理事・会長 原 芳彦

URL : sai-syuryosei.eco.coocan.jp/

1. 活動が必要とされた状況

当会は、埼玉県が埼玉県環境科学国際センター（CESS、加須市）で毎年開催している「彩の国環境大学」を修了した有志が、学んだ知識や経験を活かした環境活動を行うことを目的として1998年3月に設立された環境団体です。これまで、会全体として、また、4つの部会（地球温暖化防止、化学物質、生活循環資源、自然環境・教育部会）として様々な環境活動に取り組んできました。コロナ禍でしたが、行政関係のイベントは、前年より増えました。特に、子どもたちが身近に感じる気候変動等に関心を持ち始めたようで、分かり易い「STOP 温暖化冊子」はタイムリーでした。この冊子は、当会員や行政・学校関係者にも予想以上に好評で、冊子2000冊配布が、ほぼ1年で完了しそうです。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 子どもエコフェスティバル 1月26日 浦和駅西口コルソ7階

〈参加内容〉エネルギー実験装置&自然観察系の体験型工作実技コーナー&活動展示

〈来場人数〉(担当ブース)：約150人/日(実験及び工作実技等体験参加者)

* 活動資料置き場コーナー：温暖化&自然環境観察ガイドブック：120冊

(2) ふじみ野市民活動展示・交流会 1月30日～2月5日 市役所1F&市民交流プラザ

〈来場人数〉(ブース立ち寄り数)：①展示会：120人 ②交流会：240人

〈参加内容〉展示(A1ポスター2枚&A4フォト説明文20枚)と活動資料：70冊

(3) 当会主催 or 他団体との共催等のイベント事業でのガイドブックの配布・紹介

①11/14CESS 県民の日イベント②12/10SDGs エコフォーラム

③2/4 フォローアップ講座

(4) STOP 温暖化冊子：A5 印刷カラー16P、2000部

* 配布先：イベント参加者、会員、行政・学校関係者等



写真1 子どもフェス

3. 活動の成果

(1) 会員地域の小学校（特に5～6年生）の「環境学習講座」に対応することができた。

(2) 生徒の親たちからも、とても良いと好評だった。

(3) 自主制作ガイドブックを通して当会活動を紹介できた。

(4) 講演会等で様々な分野の人と意見・情報交換ができた。

(5) 新規会員への入会勧誘に手ごたえがあった。



写真2 OSDGs フォーラム

4. 今後に残された課題

(1) 最近では政府の働き方改革の影響もあり、環境団体への加入年齢が高まり、新会員加入も苦戦している。働きながら一緒に環境活動ができる仕組み・体制作りが必要である。

(2) 地域、特に小中学校への環境学習に役立つ人材育成や現会員のスキル向上・活動ツール充実を図る必要がある。



写真3 市民活動展示・交流会